

■ 日野町長コメント

この度、日野町は町民の約27%が加入する「全国健康保険協会鳥取支部(協会けんぽ)」と「日野町民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結することになりました。

本町では、高血圧・糖尿病などの循環器系の疾患の保有率や脳出血を含む脳血管疾患、虚血性心疾患の発症率が県内平均よりも高くなっています。このことは、住民一人当たりの医療費の増加とさらなる人口減少につながり、町民の皆さまの健康寿命の延伸のために健康意識を高めることや、健診の受診率の向上が大きな課題となっています。

この度の協定により、日野町民の皆さまに対し、的確な健康づくり事業を提供するため、町と協会けんぽとの共同で健診の受診勧奨などの広報や、健診結果のデータ分析など健康づくりに資する様々な活動を行うことができます。

また、日野町国民健康保険・後期高齢者医療と協会けんぽを合わせますと、町民の約8割の健診や医療費などのデータをカバーすることができます。これらの分析により日野町の健康課題を見出し、働き盛りの世代の方々が多く加入されている協会けんぽと協力して課題解決に向けた健康づくりや疾病予防事業の取り組みを進めていきます。

協会けんぽ鳥取支部との協定締結を事業発展の好機と捉え、町民の皆さまが健康で安心して暮らしていくことのできる町づくりを進めていきたいと考えています。



日野町長
景山 享弘

